

県民意識調査における生活全般の満足度の内訳について ～各選択肢それぞれの状況～

(概要)

意識調査の各選択肢をそれぞれグラフ化して推移を確認したところ、「満足」は横ばいに対し「やや満足」は増加、「不満」と「やや不満」ではどちらも減少傾向にあるが「不満」の方が大きく減少など、異なる推移が見られました。

今後も定期的に各選択肢それぞれの推移を点検することが必要と考えられます。

1 はじめに

県では、「いわて県民計画」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ現在の状況にどの程度満足しているか等を把握して今後県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的に「県の施策に関する県民意識調査（以下「意識調査」という。）」を実施しています。

意識調査では生活全般の満足度を調査し推移を分析していますが、調査結果報告書等では「満足」＋「やや満足」を「満足」、「不満」＋「やや不満」を「不満」と整理しています。

そこで、本レポートでは、平成20年から平成30年までの意識調査結果について各選択肢それぞれの推移を分析します。

なお、本レポートの中で示された内容や意見は、岩手県政策地域部調査統計課調査分析担当の見解であり、岩手県の公式見解を示すものではありません。

2 調査結果報告書等における集計方法

意識調査では、生活全般の満足度を「満足できる状態にある」、「やや満足できる状態にある」、「どちらともいえない」、「やや不満な状態にある」、「不満な状態にある」及び「わからない」の6つの選択肢で調査しています。また、どの選択肢も選んでいない未記入等の回答は「不明」と取り扱っています。

そして、「満足できる状態にある」と「やや満足できる状態にある」を「満足」、「不満な状態にある」と「やや不満な状態にある」を「不満」と整理して、調査結果報告書のグラフ等を作成しています¹。

平成30年意識調査結果報告書では、図表1のように掲載しました。

¹ 調査結果報告書巻末の統計表には「満足できる状態にある」と「やや満足できる状態にある」、「不満な状態にある」と「やや不満な状態にある」の数値をそのまま掲載している。

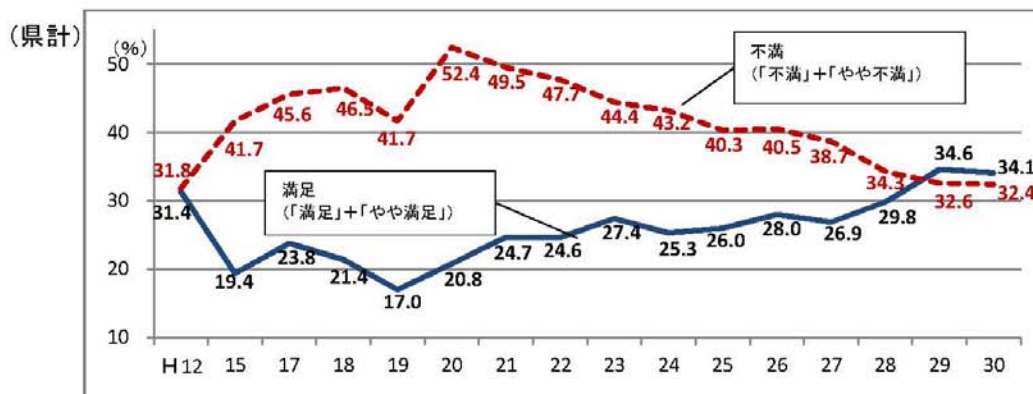
図表1 平成30年意識調査結果報告書抜粋

■ 調査結果の概要 ■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

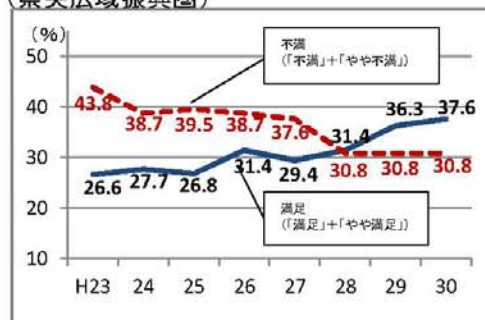
昨年に引き続き満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が34.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合32.4%を1.7ポイント上回っている。
- また、平成29年調査と比較すると、満足の割合は34.6%から0.5ポイント低下し、不満の割合も32.6%から0.2ポイント低下している。
- 広域振興圏別に見ると、沿岸で満足が不満を上回り、県央では満足が上昇している一方、県南では満足が低下して不満を下回り、県北でも満足が低下している。

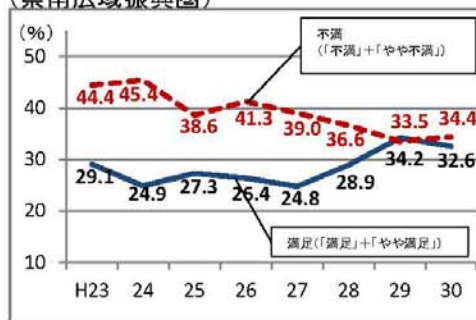


注)平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

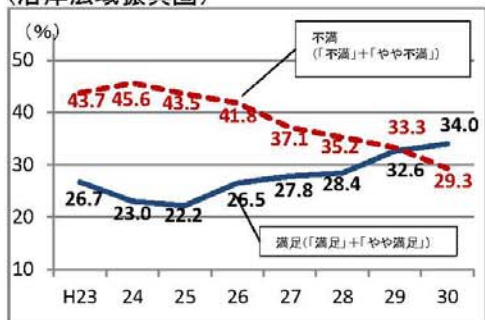
(県央広域振興圏)



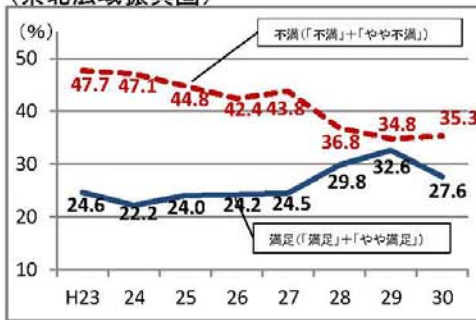
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



図表1 (続き) 平成30年意識調査結果報告書抜粋

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

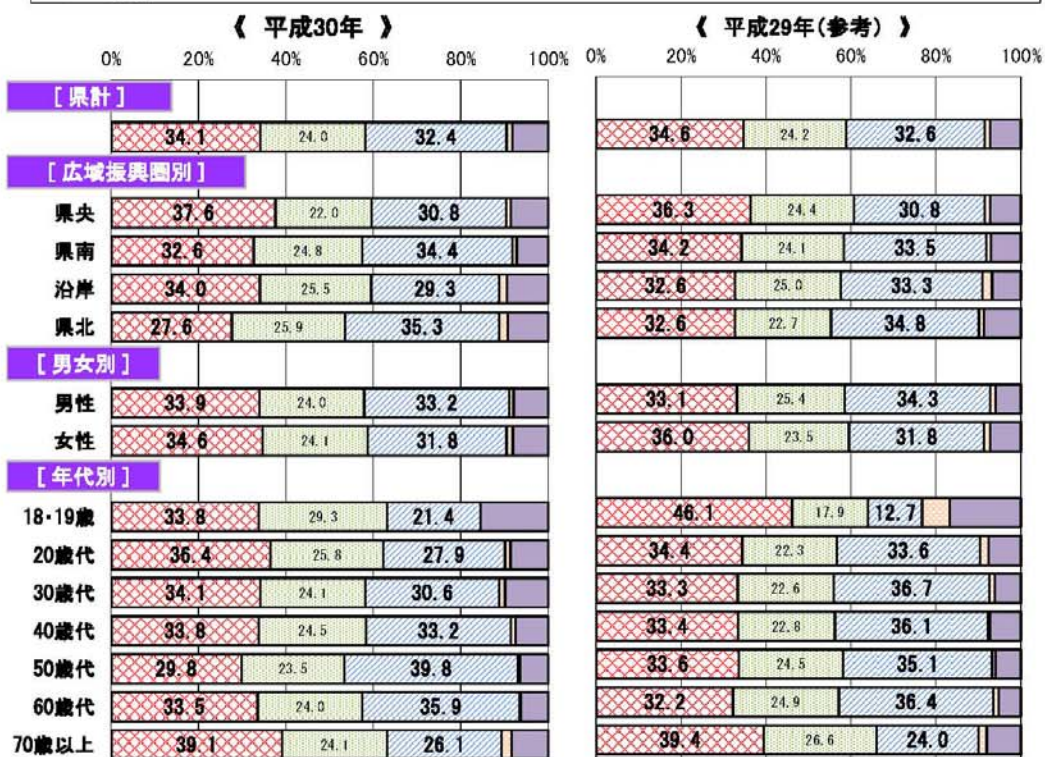
満足が約35%(34.1%)、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が34.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合32.4%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(37.6%)、男女別では女性(34.6%)、年代別では70歳以上(39.1%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△6.5ポイント)、男女別では女性(0.5ポイント)、年代別では70歳以上(5.0ポイント)となっている。

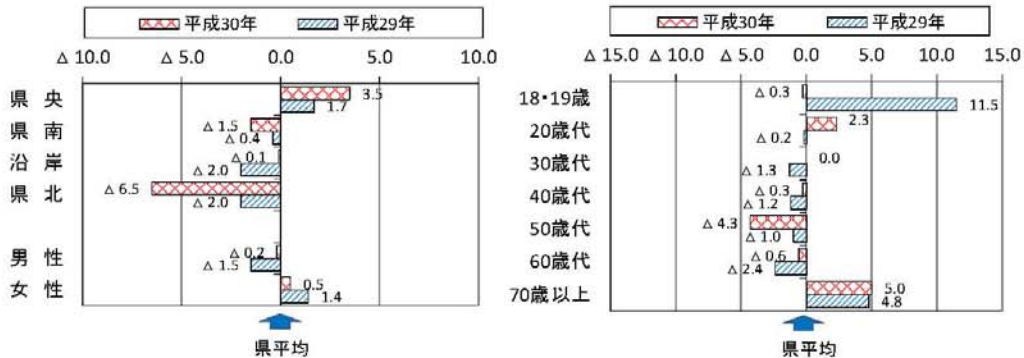
満足(「満足できる状態」+「やや満足できる状態」)
 どちらともいえない

不満(「不満な状態」+「やや不満な状態」)
 わからない

不明



満足の割合の県平均との差



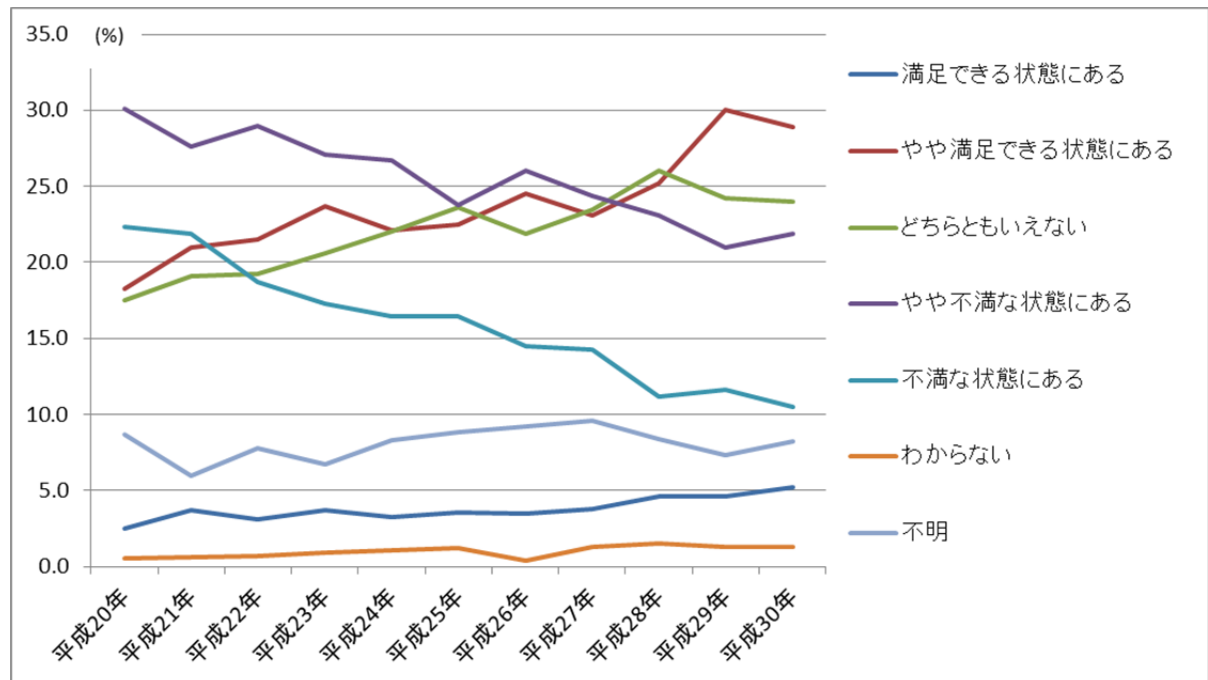
3 各選択肢それぞれの状況

(1) 県計及び各広域振興圏別の状況

前述のとおり、調査結果報告書のグラフ等では「満足」＋「やや満足」を「満足」、「不満」＋「やや不満」を「不満」と整理しています。

そこで、意識調査の選択肢である「満足できる状態にある」、「やや満足できる状態にある」、「どちらともいえない」、「やや不満な状態にある」、「不満な状態にある」、「わからない」及び「不明²」をそれぞれグラフ化したところ、次のようになりました³。

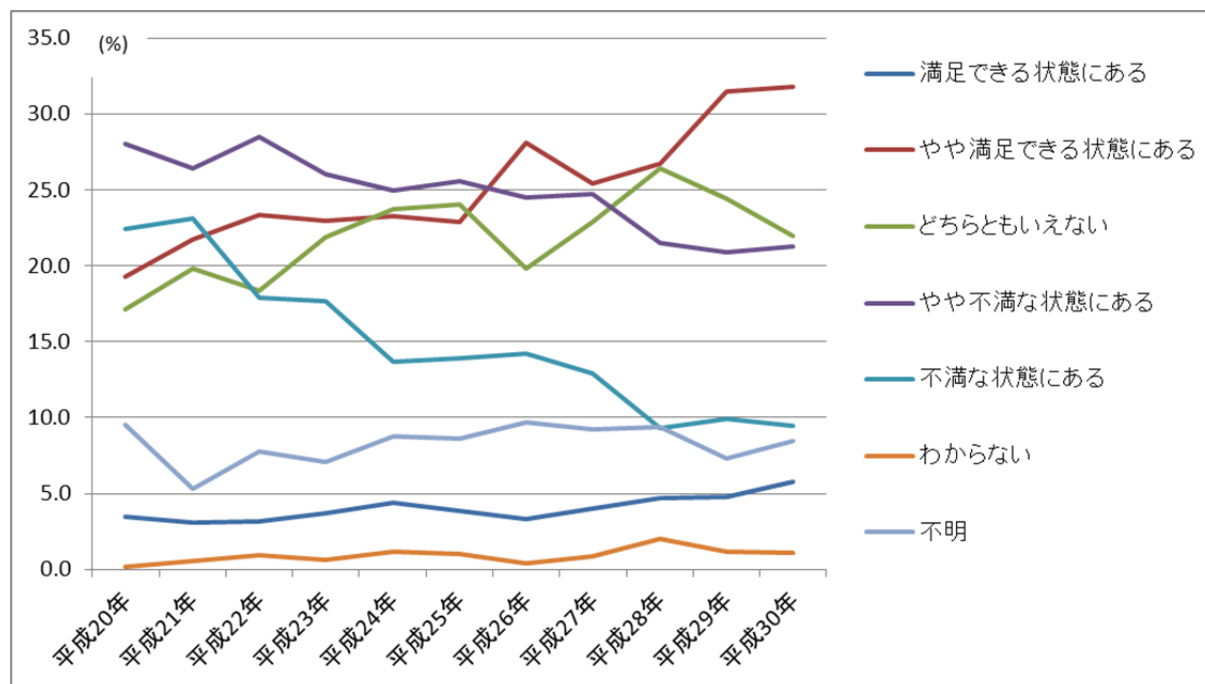
図表2 県計



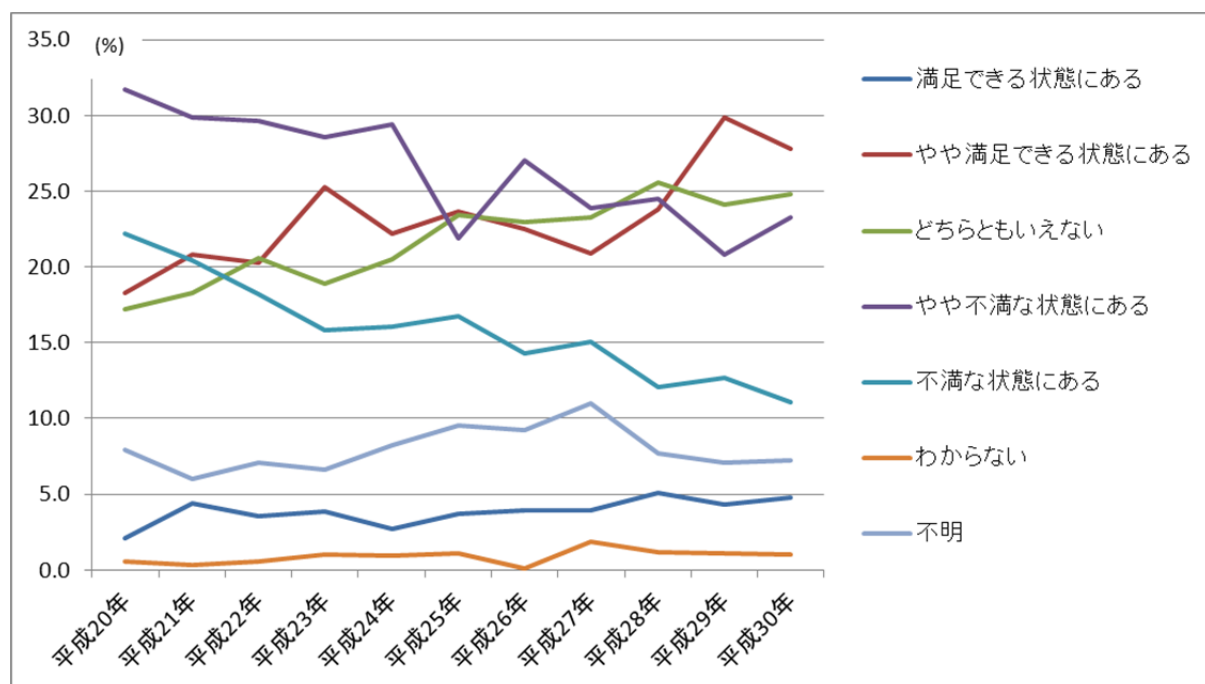
² 「不明」は選択肢として用意したものではなく、前述のとおりどの選択肢も選んでいない未記入等の回答を「不明」としているものであること。以下同じ。

³ 図表2以降のグラフに用いた数値は本レポート巻末の統計表に掲載している。なお、図表1のグラフの数値については、本レポートには掲載していないので平成30年意識調査結果報告書巻末の統計表を参照のこと。

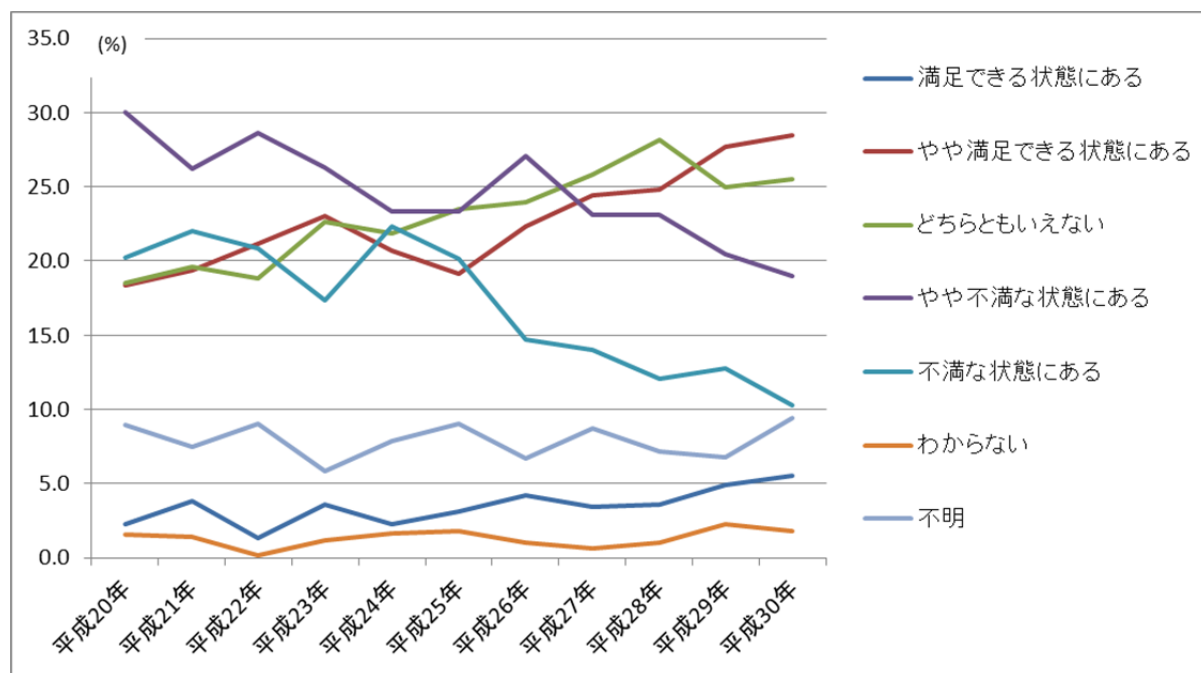
図表3 県央広域振興圏



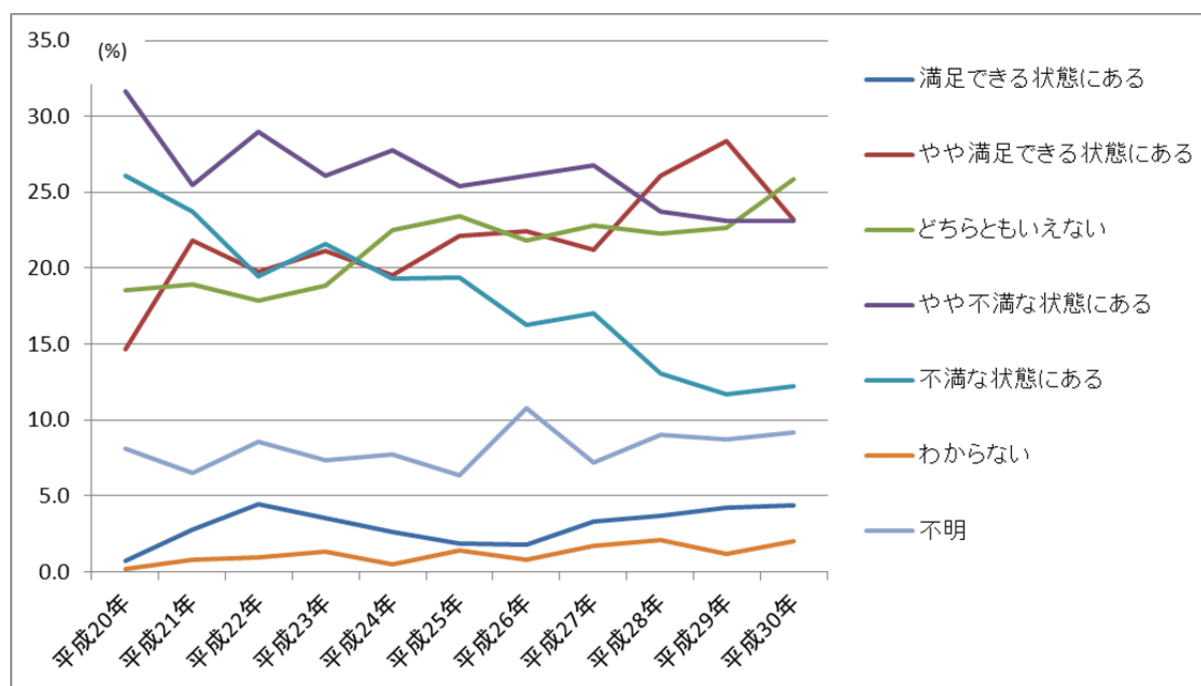
図表4 県南広域振興圏



図表5 沿岸広域振興圏



図表6 県北広域振興圏

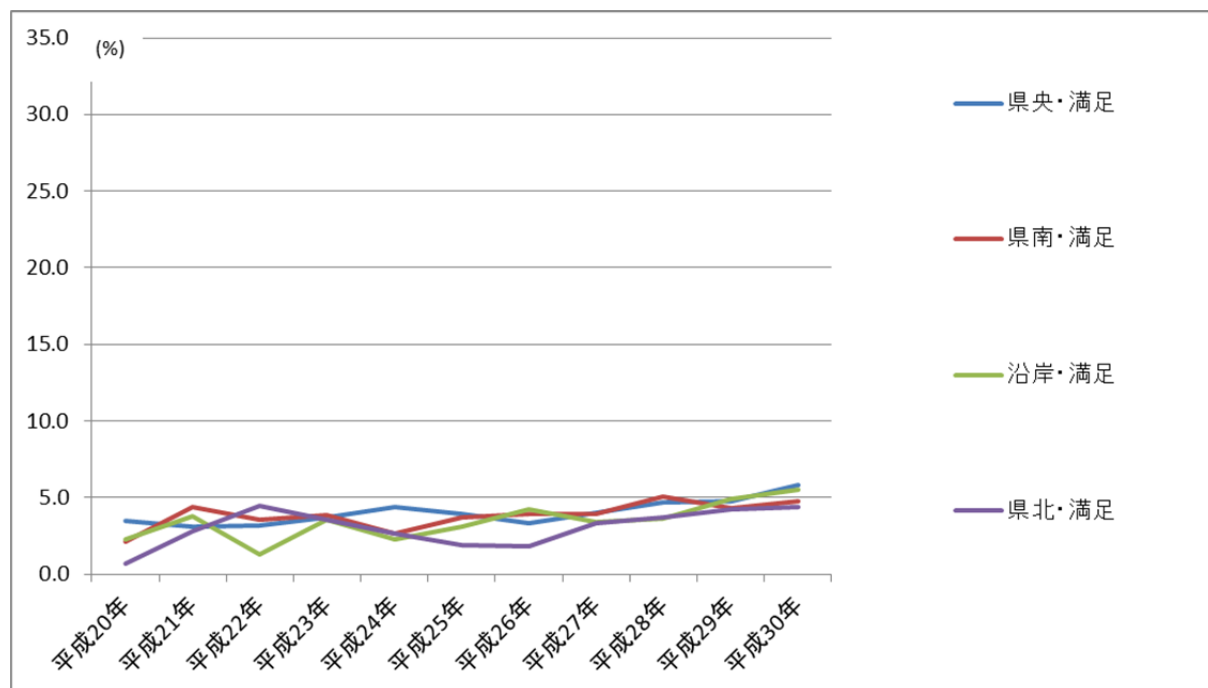


(2) 選択肢別の状況

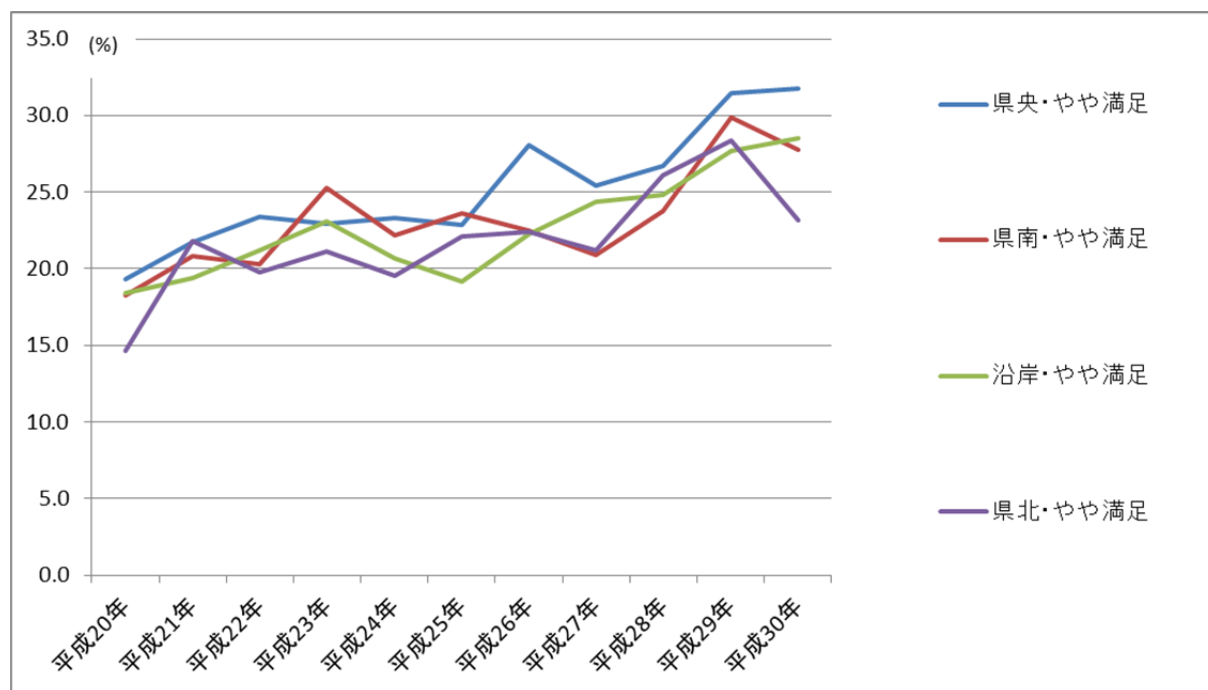
前節の図表2～6では、県計及び各広域振興圏別に各選択肢を整理しました。そこで、次は各選択肢別に各広域振興圏の推移をグラフ化します⁴。

⁴ 図表7以降の各選択肢別のグラフでは、県計は省略する。

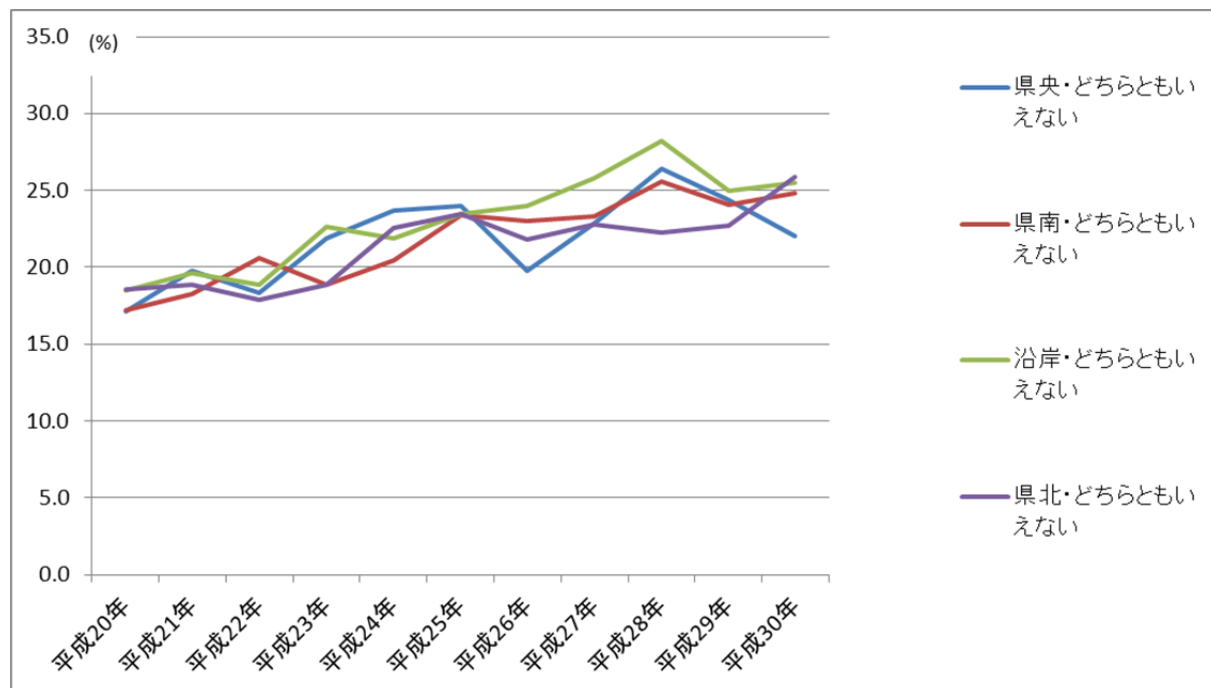
図表7 「満足」



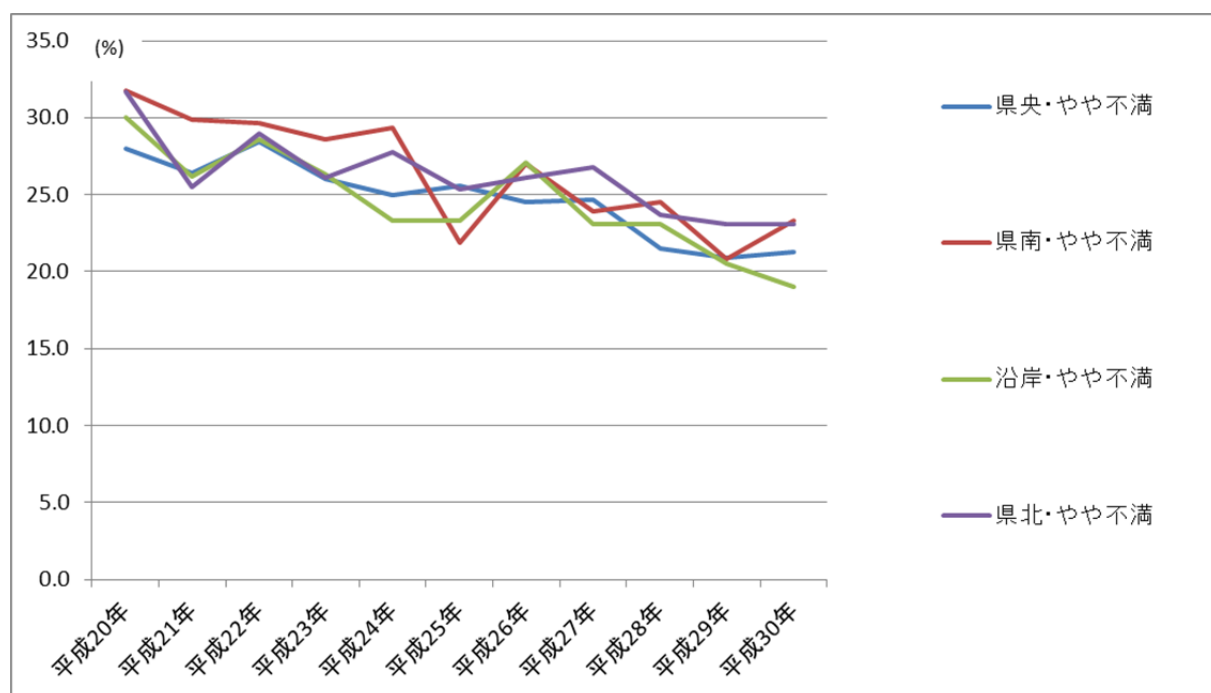
図表8 「やや満足」



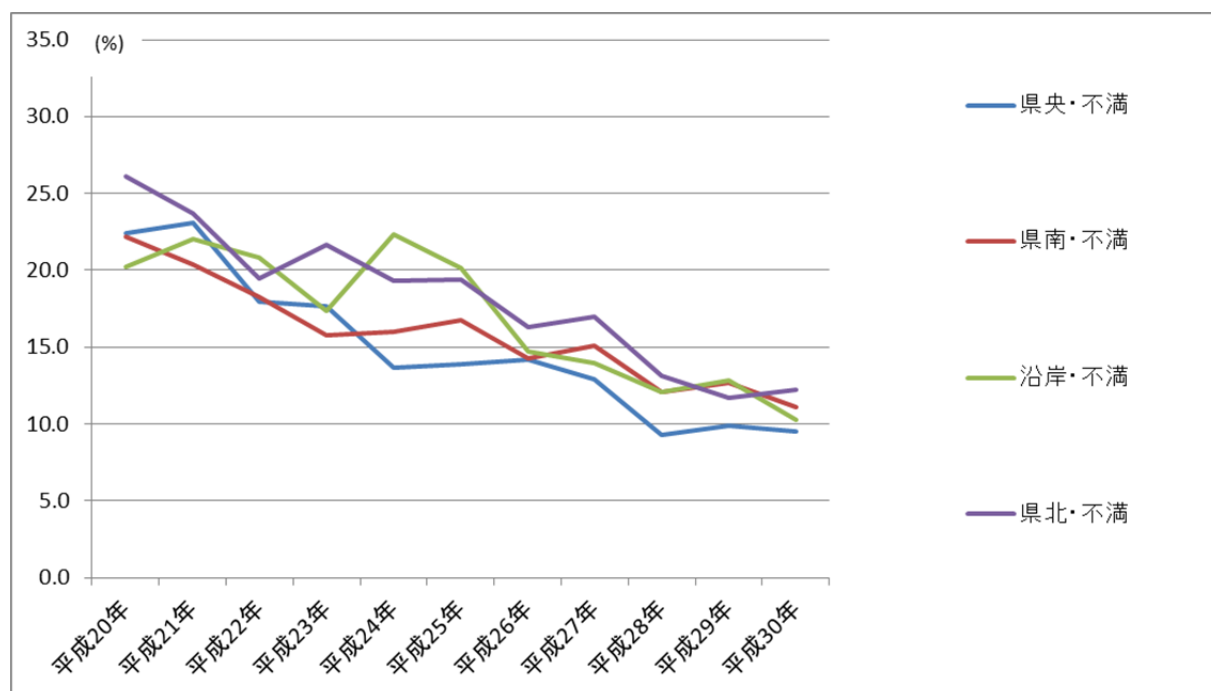
図表9 「どちらともいえない」



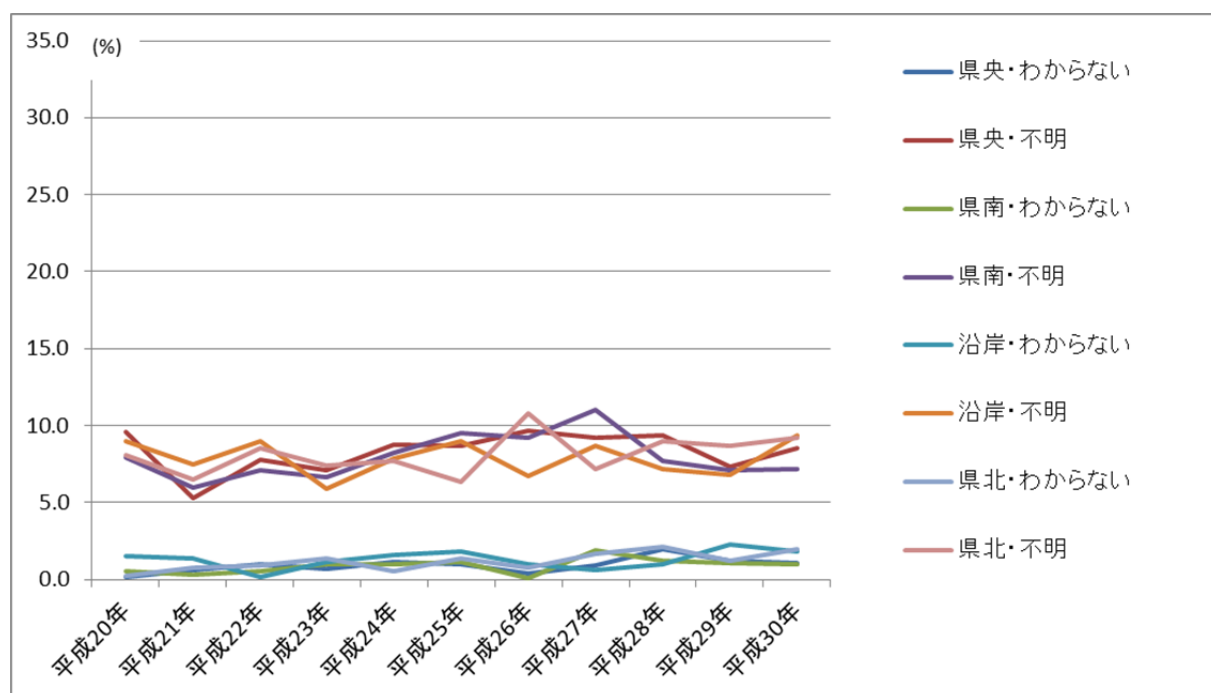
図表10 「やや不満」



図表11 「不満」



図表12 「わからない」及び「不明」



4 各図表から読み取れる状況

平成20年から平成30年までの意識調査の結果を各選択肢別にグラフ化した図表2～12からは、次の状況を読み取ることができます。

(1) 「わからない」と「不明」の状況

図表12を見ると、どの広域振興圏でも「わからない」という回答は概ね1%前後で推移しています。また、調査票は返送されたものの未記入等により「不明」となる割合も10%に届かな

い水準で推移しています。

このことから、未記入等のため「不明」とせざるを得ない割合は長期的に増加してはならず、回答内容の精度は確保されていることが分かります。また、「わからない」という回答は長期的に1%前後で変化がないことから、回答者の多くは単に「わからない」と回答するわけではなく自分の気持ちが「満足」～「不満」のどれに近いと考えていただき調査に協力していただいていると解釈することができます。

(2) 「満足」と「やや満足」の状況

「満足」と「やや満足」をそれぞれグラフ化した状況を図表7、8で見ると、「満足」は長期的には少しずつ増加しているもののほとんど横ばいと言ってよく、調査結果報告書等で「満足」（「満足」＋「やや満足」）が増加しているのは「やや満足」の増加が寄与していると言うことができます。

ここで、図表8で県南広域振興圏と県北広域振興圏における直近（平成29年～平成30年）の「やや満足」の減少が見られますので、その状況を詳しく見てみます。

図表4で県南広域振興圏の状況を見ると、「やや満足」は減少しましたが「満足」の増加と「不満」の減少は継続していますので、大きな傾向自体は変化していないことが推測されます。「やや満足」の減少分については「どちらともいえない」と「やや不満」に移行していると考えられますので、これが1年間限りの状況なのか大きな傾向の変化に繋がるのか、これらの選択肢の今後の推移を見る必要があります。

また、図表6で県北広域振興圏の状況を見ると、「やや満足」が減少した分は主として「どちらともいえない」に移行したと見ることができます。一方、「やや不満」が増加しない中で「不満」がわずかに増加していますので、「やや満足」だった回答が「やや不満」に留まらず「不満」と積極的に回答しているとも考えられます。この点も1年間限りの状況なのか大きな傾向の変化に繋がるのか今後の推移を見る必要があります。

(3) 「不満」と「やや不満」の状況

図表10、11で「不満」と「やや不満」の状況を見ると、どちらも長期的に減少傾向にあり特に「不満」は「やや不満」よりも大きく減少してきています。

図表2～6で県計と各広域振興圏の直近（平成29年から平成30年）の状況を見ると、「不満」と「やや不満」は概ね逆方向に動いており、「不満」と「やや不満」の間で一方からもう一方への移行という動きになっていること、しかし総じて言えば「不満」という大枠の中に留まっていることが窺われます。

そのような動きが見られる中、図表5の沿岸広域振興圏では「不満」と「やや不満」が同時に減少しており、「不満」という大枠から「満足」、「やや満足」に移行していることが見えます⁵。

一方、図表6の県北広域振興圏では、前述のとおり「やや満足」の大幅な減少と「やや不満」に留まらず「不満」と積極的に回答する割合のわずかな増加が見られるので、「満足」と「不満」の間の大きな傾向の変化に繋がるのか今後の推移を見る必要があります。

⁵ 沿岸広域振興圏ではこの時期に「不明」回答も増加している点には注意が必要である。

5 まとめ

調査結果報告書等で使用している「満足」（「満足」＋「やや満足」）、「不満」（「不満」＋「やや不満」）の推移を見ると、長期的に「満足」は一貫して増加し「不満」は一貫して減少しています。この点について、本レポートで各選択肢をそれぞれグラフ化したところ、「満足」はほとんど横ばいである一方「やや満足」は増加していること、「不満」と「やや不満」はどちらも減少傾向にあり特に「不満」の方が大きく減少していること、また、「わからない」と「不明」は低い割合で推移していること等、それぞれに特徴的な推移が見られました。

今後も、基本的には「満足」＋「やや満足」、「不満」＋「やや不満」による推移を確認しながら、定期的に各選択肢それぞれの推移も点検し大きな傾向の変化が生じていないか分析することが必要であると考えられます。

統計表
図表2 県計

(%)

	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	不明
平成20年	2.5	18.3	17.5	30.1	22.3	0.6	8.7
平成21年	3.7	21.0	19.1	27.6	21.9	0.6	6.0
平成22年	3.1	21.5	19.3	29.0	18.7	0.7	7.8
平成23年	3.7	23.7	20.6	27.1	17.3	0.9	6.7
平成24年	3.2	22.1	22.1	26.7	16.5	1.1	8.3
平成25年	3.5	22.5	23.6	23.8	16.5	1.2	8.8
平成26年	3.5	24.5	21.9	26.0	14.5	0.4	9.2
平成27年	3.8	23.1	23.5	24.4	14.3	1.3	9.6
平成28年	4.6	25.2	26.0	23.1	11.2	1.5	8.4
平成29年	4.6	30.0	24.2	21.0	11.6	1.3	7.3
平成30年	5.2	28.9	24.0	21.9	10.5	1.3	8.2

図表3 県央広域振興圏

	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	不明
平成20年	3.5	19.3	17.1	28.0	22.4	0.1	9.6
平成21年	3.1	21.7	19.8	26.4	23.1	0.6	5.3
平成22年	3.2	23.4	18.3	28.5	17.9	1.0	7.8
平成23年	3.7	22.9	21.9	26.1	17.7	0.7	7.1
平成24年	4.4	23.3	23.7	25.0	13.7	1.2	8.8
平成25年	3.9	22.9	24.0	25.6	13.9	1.0	8.6
平成26年	3.3	28.1	19.8	24.5	14.2	0.4	9.7
平成27年	4.0	25.4	22.9	24.7	12.9	0.9	9.2
平成28年	4.7	26.7	26.4	21.5	9.3	2.0	9.4
平成29年	4.8	31.5	24.4	20.9	9.9	1.2	7.3
平成30年	5.8	31.8	22.0	21.3	9.5	1.1	8.5

図表4 県南広域振興圏

	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	不明
平成20年	2.1	18.3	17.2	31.7	22.2	0.6	7.9
平成21年	4.4	20.8	18.3	29.9	20.4	0.3	6.0
平成22年	3.6	20.3	20.6	29.6	18.2	0.5	7.1
平成23年	3.9	25.2	18.9	28.6	15.8	1.0	6.6
平成24年	2.7	22.2	20.5	29.4	16.0	1.0	8.2
平成25年	3.7	23.6	23.4	21.9	16.7	1.1	9.5
平成26年	3.9	22.5	23.0	27.0	14.3	0.1	9.2
平成27年	3.9	20.9	23.3	23.9	15.1	1.9	11.0
平成28年	5.1	23.8	25.6	24.5	12.1	1.2	7.7
平成29年	4.3	29.9	24.1	20.8	12.7	1.1	7.1
平成30年	4.8	27.8	24.8	23.3	11.1	1.0	7.2

図表5 沿岸広域振興圏

	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	不明
平成20年	2.3	18.4	18.5	30.1	20.2	1.6	9.0
平成21年	3.8	19.4	19.6	26.2	22.0	1.4	7.5
平成22年	1.3	21.2	18.8	28.6	20.8	0.2	9.0
平成23年	3.6	23.1	22.7	26.3	17.4	1.1	5.9
平成24年	2.3	20.7	21.9	23.3	22.3	1.6	7.8
平成25年	3.1	19.1	23.5	23.3	20.2	1.8	9.0
平成26年	4.2	22.3	24.0	27.1	14.7	1.0	6.7
平成27年	3.4	24.4	25.8	23.1	14.0	0.6	8.7
平成28年	3.6	24.8	28.2	23.1	12.1	1.0	7.2
平成29年	4.9	27.7	25.0	20.5	12.8	2.3	6.8
平成30年	5.5	28.5	25.5	19.0	10.3	1.8	9.4

図表6 県北広域振興圏

	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない	不明
平成20年	0.7	14.7	18.6	31.7	26.1	0.2	8.1
平成21年	2.8	21.8	18.9	25.5	23.7	0.8	6.5
平成22年	4.4	19.7	17.9	29.0	19.5	0.9	8.6
平成23年	3.5	21.1	18.8	26.1	21.6	1.4	7.4
平成24年	2.6	19.6	22.5	27.8	19.3	0.5	7.7
平成25年	1.9	22.1	23.5	25.4	19.4	1.4	6.3
平成26年	1.8	22.4	21.8	26.1	16.3	0.8	10.8
平成27年	3.3	21.2	22.8	26.8	17.0	1.7	7.2
平成28年	3.7	26.1	22.3	23.7	13.1	2.1	9.0
平成29年	4.2	28.4	22.7	23.1	11.7	1.2	8.7
平成30年	4.4	23.2	25.9	23.1	12.2	2.0	9.2

図表7 各広域振興圏別の「満足」 (％)

	県央・満足	県南・満足	沿岸・満足	県北・満足
平成20年	3.5	2.1	2.3	0.7
平成21年	3.1	4.4	3.8	2.8
平成22年	3.2	3.6	1.3	4.4
平成23年	3.7	3.9	3.6	3.5
平成24年	4.4	2.7	2.3	2.6
平成25年	3.9	3.7	3.1	1.9
平成26年	3.3	3.9	4.2	1.8
平成27年	4.0	3.9	3.4	3.3
平成28年	4.7	5.1	3.6	3.7
平成29年	4.8	4.3	4.9	4.2
平成30年	5.8	4.8	5.5	4.4

図表8 各広域振興圏別の「やや満足」

	県央・やや満足	県南・やや満足	沿岸・やや満足	県北・やや満足
平成20年	19.3	18.3	18.4	14.7
平成21年	21.7	20.8	19.4	21.8
平成22年	23.4	20.3	21.2	19.7
平成23年	22.9	25.2	23.1	21.1
平成24年	23.3	22.2	20.7	19.6
平成25年	22.9	23.6	19.1	22.1
平成26年	28.1	22.5	22.3	22.4
平成27年	25.4	20.9	24.4	21.2
平成28年	26.7	23.8	24.8	26.1
平成29年	31.5	29.9	27.7	28.4
平成30年	31.8	27.8	28.5	23.2

図表9 各広域振興圏別の「どちらともいえない」

	県央・どちらとも いえない	県南・どちらとも いえない	沿岸・どちらとも いえない	県北・どちらとも いえない
平成20年	17.1	17.2	18.5	18.6
平成21年	19.8	18.3	19.6	18.9
平成22年	18.3	20.6	18.8	17.9
平成23年	21.9	18.9	22.7	18.8
平成24年	23.7	20.5	21.9	22.5
平成25年	24.0	23.4	23.5	23.5
平成26年	19.8	23.0	24.0	21.8
平成27年	22.9	23.3	25.8	22.8
平成28年	26.4	25.6	28.2	22.3
平成29年	24.4	24.1	25.0	22.7
平成30年	22.0	24.8	25.5	25.9

図表10 各広域振興圏別の「やや不満」

	県央・やや不満	県南・やや不満	沿岸・やや不満	県北・やや不満
平成20年	28.0	31.7	30.1	31.7
平成21年	26.4	29.9	26.2	25.5
平成22年	28.5	29.6	28.6	29.0
平成23年	26.1	28.6	26.3	26.1
平成24年	25.0	29.4	23.3	27.8
平成25年	25.6	21.9	23.3	25.4
平成26年	24.5	27.0	27.1	26.1
平成27年	24.7	23.9	23.1	26.8
平成28年	21.5	24.5	23.1	23.7
平成29年	20.9	20.8	20.5	23.1
平成30年	21.3	23.3	19.0	23.1

図表11 各広域振興圏別の「不満」

	県央・不満	県南・不満	沿岸・不満	県北・不満
平成20年	22.4	22.2	20.2	26.1
平成21年	23.1	20.4	22.0	23.7
平成22年	17.9	18.2	20.8	19.5
平成23年	17.7	15.8	17.4	21.6
平成24年	13.7	16.0	22.3	19.3
平成25年	13.9	16.7	20.2	19.4
平成26年	14.2	14.3	14.7	16.3
平成27年	12.9	15.1	14.0	17.0
平成28年	9.3	12.1	12.1	13.1
平成29年	9.9	12.7	12.8	11.7
平成30年	9.5	11.1	10.3	12.2

図表11 各広域振興圏別の「わからない」、「不明」

(%)

	県央・わからない	県央・不明	県南・わからない	県南・不明	沿岸・わからない	沿岸・不明	県北・わからない	県北・不明
平成20年	0.1	9.6	0.6	7.9	1.6	9.0	0.2	8.1
平成21年	0.6	5.3	0.3	6.0	1.4	7.5	0.8	6.5
平成22年	1.0	7.8	0.5	7.1	0.2	9.0	0.9	8.6
平成23年	0.7	7.1	1.0	6.6	1.1	5.9	1.4	7.4
平成24年	1.2	8.8	1.0	8.2	1.6	7.8	0.5	7.7
平成25年	1.0	8.6	1.1	9.5	1.8	9.0	1.4	6.3
平成26年	0.4	9.7	0.1	9.2	1.0	6.7	0.8	10.8
平成27年	0.9	9.2	1.9	11.0	0.6	8.7	1.7	7.2
平成28年	2.0	9.4	1.2	7.7	1.0	7.2	2.1	9.0
平成29年	1.2	7.3	1.1	7.1	2.3	6.8	1.2	8.7
平成30年	1.1	8.5	1.0	7.2	1.8	9.4	2.0	9.2